

地域公共交通活性化・再生総合事業(調査事業)：岡山県倉敷市

概要

地方中核都市である倉敷市においても、過度なマイカー依存などによりバス路線の廃止・減便が相次ぎ、市内を運行する路線の半数以上は1日5便以下のローカル路線となっている。公共交通を維持・促進するため、各種のハード・ソフト施策によりバス利用の促進が喫緊の課題となっている。また、合併により編入された地域を運行するコミュニティバスについては、利用率も低く行政支援も多額となっていることから、市内公共交通ネットワークの中で持続可能で効率的な再編を実施する。

○地域公共交通の概要

- ・両備H(株) 27系統
- ・下津井電鉄(株) 30系統
- ・その他バス会社 10系統
- ・コミュニティバス 船穂・真備地区
- ・乗合タクシー 西坂台団地等3地区

○地域公共交通の課題

- ・公共交通利用者の減少に歯止めをかけ、交通弱者の移動手段を確保するとともに、公共交通ネットワークを維持・充実させるための各種施策の実施
- ・合併により編入された船穂・真備地区を運行するコミュニティバスの財政負担の増加

○調査事業の主な内容

- ・船穂・真備地区コミュニティバス再編調査
- ・公共交通乗換情報提供等ソフト施策実施計画
- ・乗換施設移動円滑化整備等ハード施策実施計画

○策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・幹線、準幹線、支線に分類した路線毎にハード・ソフト等による利用促進計画を策定
- ・船穂・真備地区のコミュニティバスについて、両地区及び周辺地区との連携も考慮し、運行ルート・便数の見直しなど効率的な再編を行う

だれもが、移動しやすく、利用しやすい公共交通を「守り」、「育てる」

